

画像は表示できません。

十一面観音立像 国宝 向源寺（高月町渡岸寺）

平安時代初期彫刻の最高傑作として名高いこの観音さまは地元の人たちにとって誇らしく、それでいて親しい存在です。救済のため一步を踏み出さんとする、慈悲をたたえた優美なお姿に誰もが一瞬息をのみ、やがて、ほっと包まれるような安らぎを覚えるのです。 拝観は：無休・16時まで 向渡岸寺観音堂（☎85-2632）



十一面観音立像 国指定重要文化財 鶏足寺（己高閣収蔵）（木之本町古橋）

すらりとした細身にまとった衣が流れるような線を描き出しています。精悍ながら優しい顔立ちをされ、全身に塗られた渋が重厚感と温かみを醸し出しています。 拝観は…無休・17時まで（12月～3月は16時まで） 向古橋鶏足寺案内所（☎82-2784）

北近江の観音さま

市内に多く残る観音像の中から、今回は、国宝と重要文化財の指定を受けた観音像を紹介します。

	収蔵場所	所在地	拝観について	連絡先
十一面観音立像	善隆寺 (和蔵堂収蔵)	西浅井町山門	要予約	和蔵堂 (☎89-0604)
聖観音立像	東林寺	余呉町菅並	秘仏 拝観不可	-
十一面観音立像	医王寺	木之本町大見	要予約 月曜不可	木ノ本駅観光案内所 (☎82-5135)
千手観音立像 (本尊および御代仏)	千手院	川道町	開帳時のみ	千手院 (☎72-2169)
千手観音立像	神照寺	新庄寺町	要予約	神照寺 (☎62-1629)
聖観音立像	総持寺	宮司町	要予約	総持寺 (☎62-2543)
十一面観音坐像	知善院	元浜町	要予約	知善院 (☎62-5358)

詳しくは高月観音の里歴史民俗資料館（☎85-2273）まで問合せください。

向源寺住職 松室 慈慧氏



約60年程前から高月町国宝維持保存協賛会によって、維持保存をしていただいています。昔は、年間約80人程だった参拝者が、今では全国から5万人を超す皆さんにお越しいただくようになりました。 当寺にある重要文化財の大日如来坐像とともに、日本の宝であるこの観音さまを、今後も皆さんと守っていきたいと思います。



十一面観音立像 国指定重要文化財 石道寺（木之本町石道）
木肌の柔らかさが感じられるのは標ならでは。優しいお顔立ちで、紅をさした口元にはほのぼのとした印象を覚えます。小説家井上靖が「村の娘さんをモデルにしたよう」と表現したとおり、地域の人たちが愛娘のように大切に守り継いできた観音さまです。 拝観は：16時まで・月曜日休館 向石道寺（☎82-3730）



千手観音立像 国指定重要文化財 黒田観音寺（木之本町黒田）
「保崎谷の観音さま」と親しまれる大きくて堂々とした観音さま。強くて厳かな眼差しに、見守られているような気持ちが出てきます。固く結んだ唇が秘めた決意を感じさせる一方で、ネックレスのような胸飾りとふくよかな腰回りが女性らしさを生み出しています。 拝観は：要予約 向木ノ本駅観光案内所（☎82-5135）

今月の表紙

千手観音立像・聖観音立像 国指定重要文化財 赤後寺（日吉神社）（高月町唐川）

ありとあらゆる人を救う道具をもつため、たくさんの手を持つ千手観音。当初は42本あったと考えられています。その手の多くが失われたのは、村人が戦火から守ろうと運びだし、観音像を川に沈めたためといわれており、右隣にいらっしゃる聖観音像も同じ理由で手足を失っています。 こうして大切に守り継がれ、今も変わらず堂々とした佇まいを持つ2体の観音さまは、厄を転じて利を施す「コロリ観音さん」として、全国から参詣者を惹きつけています。 拝観は…要予約 向赤後寺世話方（☎090-3164-7486）



聖観世音立像 国指定重要文化財 来現寺（弓削町）

目鼻立ちがはっきりとしていて、グッと引き締まった顔立ちに意志の強さのようなものを感じます。今にも一歩歩み寄り、分厚くて大きな耳で苦しみや悩みをすべて聞き入れてくださるかのようです。 拝観は…開帳時のみ（年数回） 向来現寺（☎72-2819）



十一面観音立像 国指定重要文化財 西野薬師堂（充滿寺）（高月町西野）
腹部や胸のふくよかさが印象的な観音さま。衣の部分には当初、彩色が施されていましたが、村人が仮堂で守り、現在は重要文化財の薬師如来と並んで、薬師堂に安置されています。 拝観は：要予約 向西野薬師堂世話方（☎090-8938-6369）